

演題 矯正治療により、圧下した歯牙にGTRを試みた症例

演者名 飯干光男

日付 2015年9月29日

keywords

1. 圧下
2. エムドゲイン
3. 遮断膜

欠損歯を放置したままの口腔内において、対合歯の挺出が起こることは知られているが、歯槽骨を伴っての挺出と、歯牙のみの場合がみうけられる。

挺出がおこると、欠損部位に補綴を行う際には、咬合平面の乱れの是正や、同部位の高さを確保するために、対合歯の削合や矯正による対合歯の圧下、または、全顎的咬合再構成による治療計画をたて、問題の解決を図ることになる。

本症例は、53歳女性、下顎臼歯部の補綴を主訴に来院されました。バイトが低く、上下の補綴空隙がないため、矯正によりバイトを下げています。下顎臼歯の欠損に伴い上顎小白歯が歯槽骨を伴わずに提出していたため、根露出した歯牙を歯列矯正にて圧下し、歯肉内に押し込まれた根面に、エムドゲイン、DFDBA、FDDBA、サイトプラストにより骨造成を試みたものです。

現在、治療効果が良好というわけではないのですが、諸先生のご意見、ご指導をお伺いしたいと思っています。宜しくお願いします。